

令和5年4月23日執行

江戸川区長選挙公報

江戸川区選挙管理委員会



さいとう

斉藤たけし

無所属

確かな実績!

2期目へ全力挑戦

■ 区長就任以来、感染症対応や大型台風など、危機管理の連続でしたが、区民の皆さまのお力添えにより、区政は着実に前進しています。

■ 未来への希望を見出し、「ともに生きるまち」を実現するために、どんなこともあきらめず、全力で挑戦していきます。



・昭和38年 東京都生まれ
・早稲田大学社会科学部卒
・平成30年 江戸川区教育長
・平成31年 江戸川区長

1 安全で住みよい江戸川区

- 感震ブレーカーの全世帯への配付
- 自動通話録音機の配付

2 子育てするなら江戸川区

- 50の子育てプランの実行
学校給食費の無償化(保育ママ・幼稚園含む)、保育料の無償化(3歳以上全員及び0~2歳の第2子以降)など
- 人と人、世代間のつながりを実感する仕組みづくり

3 水とみどりの江戸川区

- 区民一人あたりの樹木数と公園面積のさらなる拡大
- 水辺都市・江戸川の創造

4 人生100年 江戸川区

- 睡眠の質向上事業の推進
- 各種健(検)診・ワクチンの拡充
- 生涯通じて文化・スポーツに親しめる環境づくり

5 元気な産業 江戸川区

- 区内企業、区内産品の魅力発信
- 独自の融資制度の充実
- 一人ひとりが働きやすい環境づくり



無所属

セバタ 勇

いさむ

私は、10期40年にわたり区議会議員としてお世話になりました。その経験と知識を生かし、何よりも憲法に基づく地方自治・江戸川区政をめぐり区長選挙に立候補しました。
自民党、公明党中心の江戸川区政は、10年前に学校給食費の補助金や長寿祝い品など216項目の区民サービスを切捨て、区民の税金である積立金は10年間で2.3倍、23区で最大、全国で2位の額に。その一方、子ども一人当たりの児童福祉費は23区最低レベル、国民健康保険料は全国ワースト1位の高さです。
私は区政を転換し、大型開発より子育て、くらし応援を優先する区政に切り替えます。

1949年江戸川区生まれ●平井東小・小松川一中・都立墨田川高校卒●1983年4月江戸川区議会議員初当選以後10期連続当選●全国市議会議長会35年表彰●家族/妻●趣味/映画鑑賞、読書、水泳

憲法を区政に生かし、軍拡よりくらしを!

区がため込んだ税金2370億円を区民のためにくらし・子育て応援の区政にチェンジ

実行します

- 区立保育園でのゼロ歳児保育
- 小中学校の給食無償化
- 給付制奨学金の抜本的拡充
- 補聴器補助の対象と額を拡充
- 特養ホームを空白地域に増設
- 大規模水害・内水氾濫対策の充実
- 戸別防災ラジオの普及支援
- 全国1高い国保料を引き下げる
- 非核平和都市宣言を実施し核兵器廃絶を発信

すいせんします

伊藤 辰久 元公立小学校校長
原 純子 日本共産党都議会議員
勝俣 雅子 新日本婦人の会
猪瀬 悠紀子 江戸川健康守る会会長
日本共産党すいせん

投票日 4月23日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

(この選挙公報は、江戸川区議会議員選挙及び江戸川区長選挙における選挙公報の発行に関する条例第5条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。)